

## DRV-N520

ナビ連携型ドライブレコーダー

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、  
説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



#### My-Kenwood (ユーザー登録)のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。  
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。  
<https://jp.my-kenwood.com>

# 目次

ドライブレコーダー機能ガイド ....3	電源オン時の録画と記録 .....26
録画機能について .....3	常時録画（連続録画）モード .....26
録画時のマイクの音声を設定する...4	イベント（衝撃）記録モード .....26
本機の設定をする .....5	手動録画モード .....27
付属品 .....5	静止画記録 .....28
安全上のご注意	自動静止画撮影 .....28
（必ずお守りください） .....6	電源オフ時の駐車録画モード .....29
使用上のご注意 .....10	駐車録画モード .....29
取り付けかた .....12	フォルダ / ファイル構成 .....31
取り付け手順 .....12	録画または記録したファイルを
推奨取り付け位置 .....13	再生する .....32
接続のしかた .....14	再生画像を拡大表示する .....34
各部の名称とはたらき .....16	ファイルを保護または削除する .35
LED / 報知音による通知 .....17	ファイルを保護する .....35
電源をオン / オフする .....18	ファイルを削除する .....35
電源をオフにする .....18	設定を変更する .....37
本機の電源のみオフにする .....18	ビューアソフトを使う .....40
本機のバックアップ電源に	KENWOOD DRIVE REVIEWER
ついて .....18	の動作環境 .....40
メモリーカードを取り出す /	インストールする .....40
入れる .....19	ビューアソフトを使う .....41
ナビゲーションを設定する .....20	準備 .....41
ドライブレコーダーの	画面の操作 .....41
映像を表示する .....20	Google Earth で使用するデータを
画面の見かたと操作 .....21	出力して読み込む .....46
運転支援機能 .....22	メモリーカードのデータをパソコンに
運転支援機能についてのご注意 .....22	バックアップする .....48
運転支援機能の設定 .....22	バックアップした映像を見る .....49
運転支援機能の通知 .....24	メモリーカードを
録画する .....25	フォーマットする .....50
画質の種類 .....25	システムを更新する .....51
記録ファイル / 記録枚数 / 録画時間の	故障かなと思ったら .....52
目安 .....25	主な仕様 .....56
録画ファイルの上書き保存に	ソフトウェアについて .....57
ついて .....26	保証とアフターサービス .....59

# ドライブレコーダー機能ガイド

本機は付属の microSD カードにデータを録画保存します。  
必ず microSD カードを挿入してからお使いください。

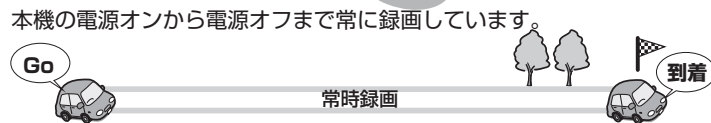
P.19

## 録画機能について

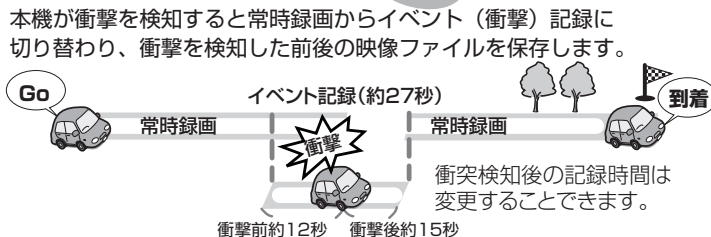
本機は運転している（本機の電源がオンになっている）間の映像を録画することができます（常時録画）。

さらに、運転中や駐車中に車両に大きな衝撃が加わった前後または衝撃後の映像を録画することができます（イベント（衝撃）記録 / 駐車録画モード）。

### 常時録画（連続録画）モード P.26



### イベント（衝撃）記録モード P.26



### 駐車録画モード P.29

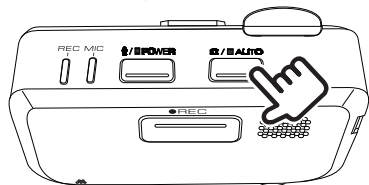
駐車場などに車を停めてイグニッションキーをオフにする  
と駐車録画モードに入り、車両に衝撃を検知すると録画を開始\*します。



\*駐車録画開始時間設定(降車時)/駐車録画停止時間設定(乗車時)の間に衝撃があった場合は録画できません。

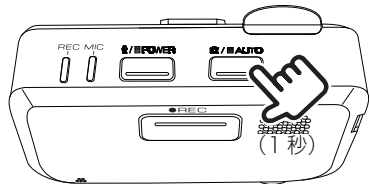
## ■ その他の録画機能

**静止画記録**：本機の AUTO ボタンを押すと、撮影中の映像を静止画として記録することができます。



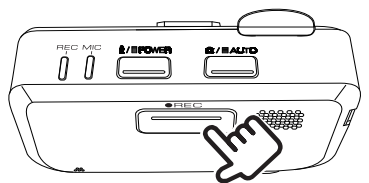
P.28

**自動静止画撮影**：本機の AUTO ボタンを押し続けると、設定した枚数の静止画を一定の間隔で自動的に撮影することができます。



P.28

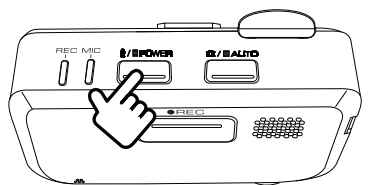
**手動録画**：本機の REC ボタンを押すと、映像を手動で録画することができます。



P.27

## 録画時のマイクの音声を設定する

本機の POWER ボタンを押すと、録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定できます。お買い上げ時は「ON」に設定されています。押すたびに「ON」/「OFF」が切り替わります。「ON」に設定されると MIC LED が緑に点灯します。



## 本機の設定をする

録画機能や、衝撃検知の感度などの設定を変更できます。設定は接続しているナビゲーションのモニター画面で設定します。



P.37

### ■ 録画画質を変更したい

録画画質は、「1280x720」/「1280x720(HDR)」/「1920x1080」/「1920x1080(HDR)」(お買い上げ時の設定)/「2304x1296」から選べます。画質の種類、録画時間 / 記録枚数の目安は 25 ページをご覧ください。

### ■ 録画ファイルの上書き設定を変更したい

イベント (衝撃) 記録モード、手動録画モード、駐車録画モードで録画されたファイルの保存可能領域がなくなったときに、古いファイルから自動的に上書きすることができます。お買い上げ時は、イベント記録、手動録画は「OFF」、駐車録画は「ON」に設定されています。

## 付属品



- ①電源コード (3.5m) x1
- ②ETC/ ステアリングリモコンケーブル x1
- ③ナビ接続用ビデオケーブル x1
- ④取付ブラケット x1
- ⑤ケーブルホルダー x1
- ⑥ソフトテープ x1
- ⑦microSDHC カード (8GB) x1
- ⑧中継コネクタ x4\*

\* 中継コネクタは② ETC/ ステアリングリモコンケーブルでステアリングリモコンに接続するときにご使用ください。詳細は [http://www.kenwood.com/jp/products/car\\_audio/option/etccable/kna300ex.html](http://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/etccable/kna300ex.html) をご覧ください。




## 安全上のご注意 (必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

	<b>警告</b> 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b> 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意 (しなければならない) の内容です。
	禁止 (してはいけない) の内容です。
	実行 (かならず行っていただく) の内容です。

### 免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### 著作権について

- 録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

### 取り付けや配線について

#### 警告

-  本機はDC12V⊖アース車以外で使用しない  
火災や故障の原因になります。DC12V⊖アース車以外で使用しないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない  
エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを絶対に使用しない  
交通事故やケガの原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない  
交通事故やケガの原因となります。

本機は保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない  
視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する  
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ねじなど小物部品やメモリーカードは乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

#### 注意



水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない  
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

## 使用方法について

 警告**分解・修理および改造はしない**

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

**音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない**

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

**機器内部に、水や異物を入れない**

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

**故障や異常な状態のままで使用しない**

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止して電源コードを本機から外してください。事故や火災、感電の原因となります。

**運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない**

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

## 使用方法について

 警告**雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない**

落雷による感電の原因となります。

**ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する**

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口へ依頼してください。

 注意**本機を車載用以外で使用しない**

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

**走行前に本機の取り付け状態を点検する**

本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

## 異常時の問い合わせ

 警告

**異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する**

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

**本機の異常にお気づきのときは**

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」(→ P.52)を参照して解決方法がないかお調べください。解決しないときは、本機の電源を切り、お買い上げの販売店またはお近くの当社サービス窓口へ相談してください。

## 使用上のご注意

### 取り付け上のご注意

- フロントガラスの上部からフロントガラス全体の20%の範囲内、または運転者の前方視界を妨げないルームミラーで隠れる位置に取り付けてください。
- ワイパーのふき取り範囲に入るように取り付けてください。
- ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 車検証ラベルなどに重ならないよう注意して取り付けてください。
- 運転やエアバッグ動作の妨げにならないよう注意して取り付けてください。
- 本機を運転支援システム搭載車に取り付けるときは、車両の取扱説明書を確認して運転支援システムの妨げにならない場所を選んで取り付けてください。
- 誤った取り付けをした場合は、イベント記録や駐車録画が正しく動作しないことがあります。固定ノブの緩み、取り付け方向、取り付け角度など「取り付けかた」を参照して本機を正しく取り付けてください。(→ P.12)
- 本機を地上デジタルアンテナまたはテレビアンテナの近くや、電装品の近くに設置しないでください。テレビの受信感度の低下やちらつきノイズの原因になる可能性があります。
- 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取りマウントベースを固定してください。再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなり本機が落下する恐れがあります。
- 本機を取り付け後取付ブラケットの接着力を強くするため、取付後24時間以上放置してから使用してください。マウントブラケットの接着力が弱くなりはがれ落ちる可能性があります。
- コード類は、運転操作の妨げにならないようテープ等でまとめてください。

### 使用上のご注意

- カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- LED式信号機を撮影した場合、信号機がちらついたり点滅しているような映像が録画される場合があります。また信号機の識別や録画に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 自動車のフロントガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- 本製品はあらゆる状況においての映像の録画を保証するものではありません。

### 本機のお手入れ

- 汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもの拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。

## 本機で使用できるSDカード

規格	microSDHC
容量	8GB~32GB
スピードクラス	Class 6以上
ファイルシステム	FAT32

- スピードクラスはClass 10まで対応しています。

### SDカード使用上のご注意

- 市販のSDカードを使用するときは、SDカードに付属している取扱説明書もあわせてご確認ください。
- SDカードのフォーマット(初期化)は必ず本機で行ってから使用してください。
- SDカードには書き込み可能回数などの製品寿命があります。使用状況に応じて定期的に新品に交換することをお勧めします。
- SDカードを着脱するときは、方向を確認し折り曲げたり、強い圧力や衝撃を与えないでください。
- 端子部分に直接手を触れたり、金属を当てたりしないでください。静電気により、記憶されているデータが破損、消失するおそれがあります。
- SDカード内の必要なファイルは必ずパソコンなどにバックアップ(コピー)をしてください。SDカードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機のSDカード初期化や削除、パソコンの機能によるフォーマットでは、ファイルの管理情報が変更されるだけで、SDカード内のデータは完全に消去されません。廃棄/譲渡の際は、SDカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってSDカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。



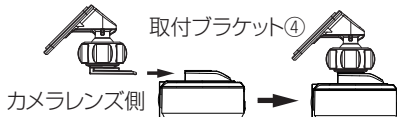
# 取り付けかた

## 取り付け手順

車が水平な場所に駐車していることを確認します。

### 1 本機を取付ブラケット④に取り付ける

本機のブラケット取付部に取付ブラケット④を差し込み、本機に取り付けます。



### 2 本機の取り付け位置を決める

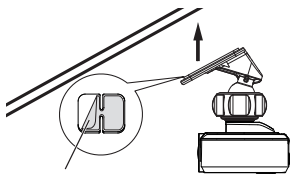
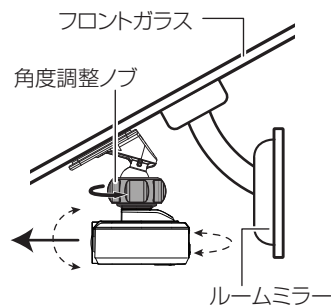
推奨取り付け位置を参考にして取り付け位置を決めてください。また、国土交通省の定める保安基準\*に適合するように取り付けてください。

\*保安基準：道路運送車両の保安基準第29条（窓ガラス）、細目告示第195条



### 3 取り付ける面をきれいにしてフロントガラスに貼り付ける

市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取ってください。取付ブラケットの両面テープのはくり紙をはがし、フロントガラスに押しつけて取付ブラケットを貼り付けます。取付ブラケットの取付強度を強くするため取り付け後、24時間以上放置してから使用してください。



### 4 コードを接続する

14 ページの「接続のしかた」を参照して接続をします。

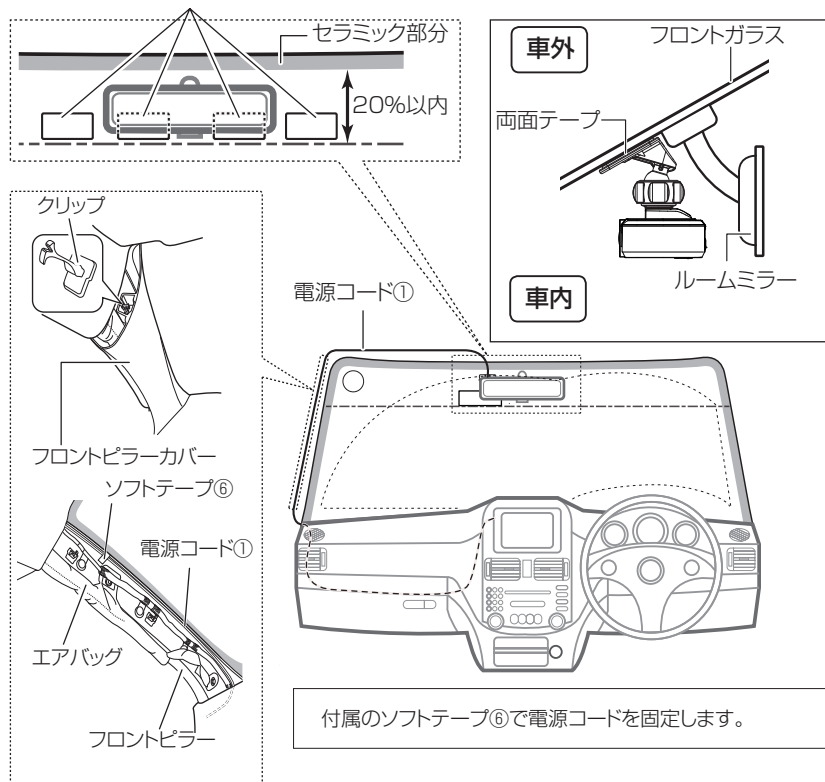
### 5 本機の取り付け角度を調整して固定する

調整前に角度調整ノブを右に回しておきます。取り付け角度を調整するときは、カメラの視野が水平な地面と平行であり、また空と地上との比率が同じであることを確認してください。取付角度を調整したら、取付ブラケット④の角度調整ノブを左に回して固定します。

## 推奨取り付け位置

フロントガラスの上部からフロントガラス全体の20%の範囲内、または運転者の前方視界を妨げない（ルームミラーで隠れる位置）位置に取り付けてください。

- ・ワイパーのふき取り範囲に入るように取り付けてください。
- ・本機をルームミラー後部のフロントガラス中央部に取り付けると最適な映像を録画できます。



## △注意

電源コードをフロントピラーなどに通すときは、下記の点に注意して配線してください。

- ・電源コードとエアバッグが干渉しないようにするため、電源コードがエアバッグよりも前方または上方になるように配線してください。
- ・フロントピラーカバーが特殊クリップ等で固定されている車両の場合は、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。
- ・電源コードは、運転操作の妨げにならないよう付属のソフトテープ⑥等でまとめてください。

### 6 運転支援機能の設定をする

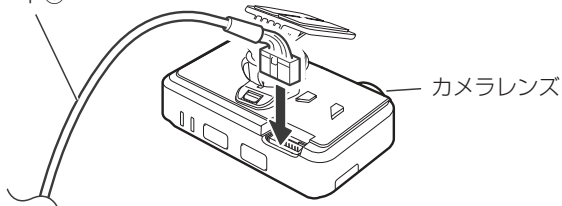
22 ページを参照して設定してください。

- ・カメラの向き、角度の調整は運転支援機能を正しく動作させるために、とても重要です。見通しの良い、平らで安全な場所で調整してください。

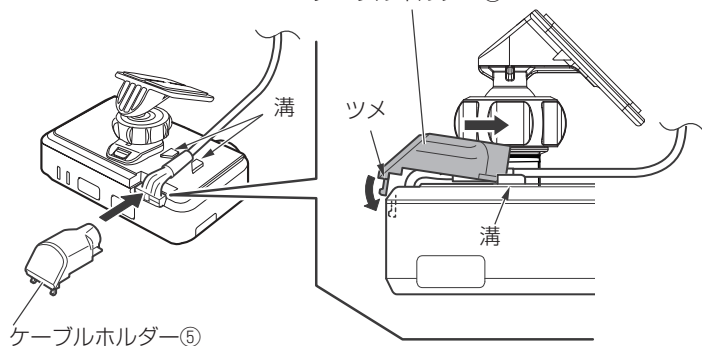
## 接続のしかた

**△注意** 接続作業を行うときは、初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。

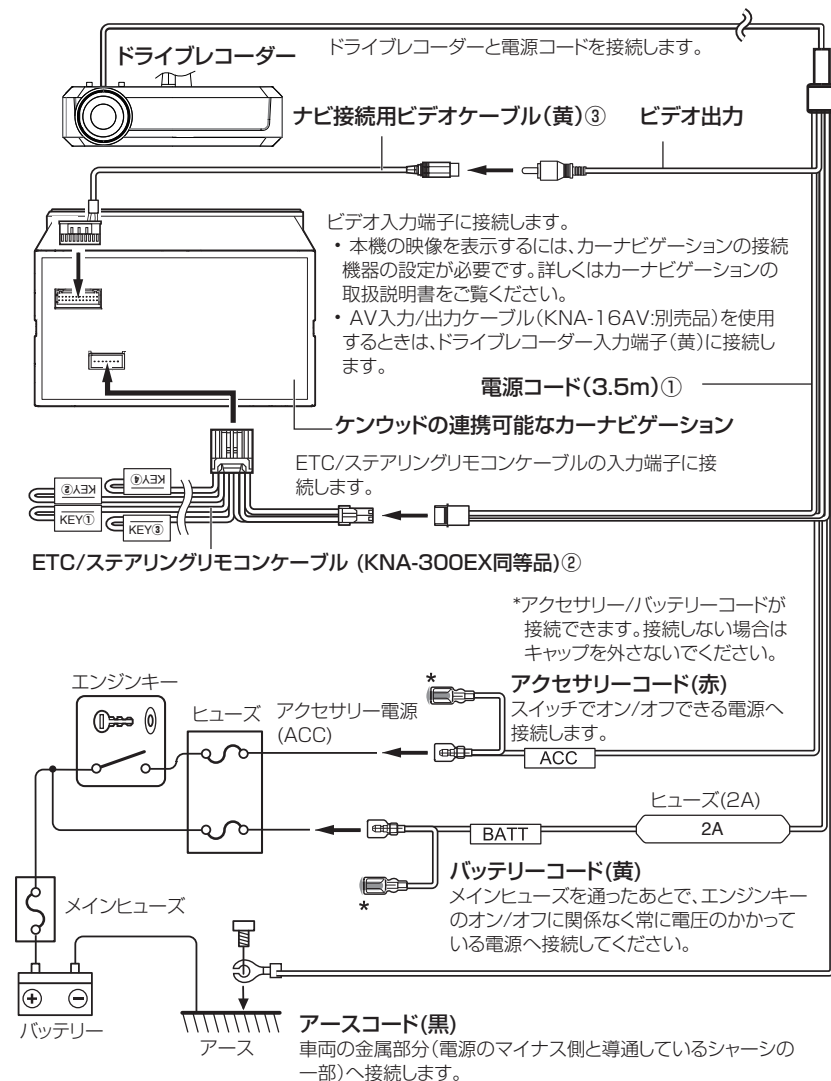
### 1 電源コード①をドライブレコーダーに接続する



### 2 ケーブルホルダー⑤をドライブレコーダーの溝に挿入し、ケーブルホルダー⑤のツメをドライブレコーダーのコネクター部に差し込んで取り付ける

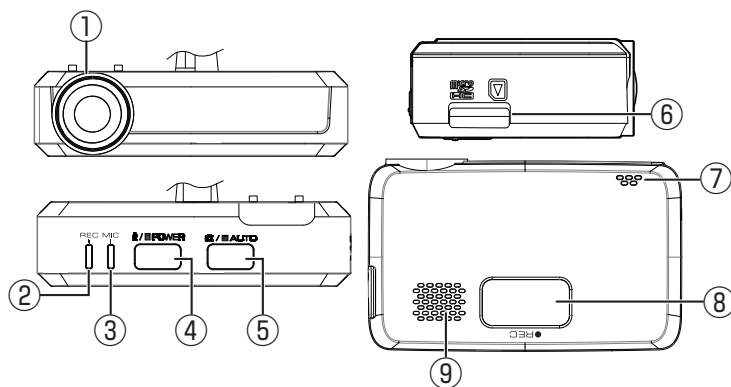


## 3 配線する





## 各部の名称とはたらき



## ① カメラレンズ

## ② REC LED

録画中に点灯（青色）します。

## ③ MIC LED

音声記録 ON 設定時に点灯（緑色）します。

## ④ POWER ボタン

- 押すたびに音声記録をする / しないを設定します。  
- 本機がオフ中に 1 秒以上押し続けると電源をオンします。  
- 本機がオン中に 1 秒以上押し続けると電源をオフします。

## ⑤ AUTO ボタン

- 静止画を撮影記録します。  
- 押し続けると自動静止画撮影機能が ON になります。  
- 自動静止画撮影機能 ON のときに押し続けると自動静止画撮影機能が OFF になります

## ⑥ microSD メモリーカード（以降、メモリーカード）挿入口

## ⑦ マイク

録画中の音声を収録します。マイクは本体に内蔵されています。

## ⑧ REC ボタン

押すと手動で録画します。

## ⑨ スピーカー

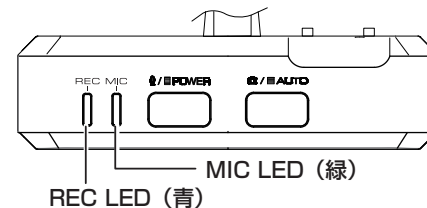
音声ガイドや報知音を出力します。

## お知らせ

・録画したファイルをナビゲーションで再生したときの音声は本機のスピーカーから出力されます。ナビゲーションのスピーカーからは出力されません。

## LED/ 報知音による通知

LED と音声、報知音で本機の状態をお知らせします。



## ■ 通常通知 / 駐車時録画

条件	報知音	LED	
		REC (青色)	MIC (緑色)
常時録画開始	ピコン (↑)	点灯	—
常時録画停止	ピコン (↓)	消灯	—
手動録画開始	ピコン (↑)	点灯	—
イベント (衝撃) 記録開始	ピロリン (↑)	点灯	—
静止画記録	カシャ	—	—
静止画自動記録開始	ピピコン (↑)	—	—
静止画自動記録停止	ピピコン (↓)	—	—
駐車録画開始	ピロリン (↑)	点灯	—
駐車録画停止	ピコン (↓)	消灯	—
ファイル数制限で記録できず	ダダンダダン	—	—
音声記録 ON	プッ	—	点灯
音声記録 OFF	プッ	—	消灯

## ■ エラー通知

音声ガイダンス	異常状態
SD カードがありません (電源オン時にガイダンスしてから 3 分後に再度ガイダンスします。)	メモリーカードが入っていない。
SD カードの初期化が必要です	メモリーカードが不正またはフォーマットしていません。
SD カードエラーです	メモリーカードが異常または認識できないメモリーカードを挿入している。
録画を中止しました	異常検出により録画を停止した。
駐車記録があります	駐車録画モード中に録画が実施された。

## 電源をオン / オフする

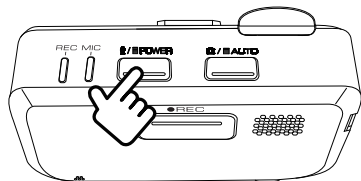
### 電源をオフにする

駐車録画が ON のときに車両のイグニッションキーを「OFF」にすると、本機の電源がオフになり、駐車録画モードになります。

### 本機の電源のみオフにする

車両のエンジンをかけたまま、本機の電源のみをオフにすることができます。また手で電源をオフにすると、次に車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にするまで、駐車録画機能はオフになります。

- 1 車両のイグニッションキーが「ACC」または「ON」のときに「POWER」ボタンを 1 秒以上押し続ける



### ■ 手で電源をオンにするには

- 1 「POWER」ボタンを 1 秒以上押し続ける  
電源がオンになると常時録画を開始します。

### 本機のバックアップ電源について

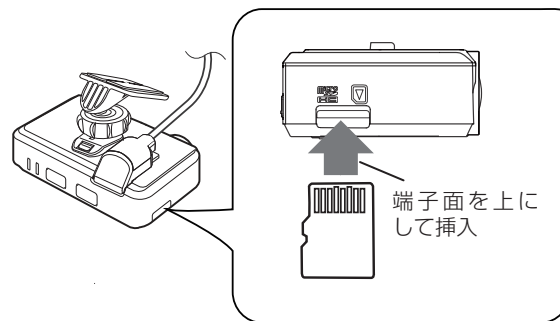
本機は、事故の衝撃で電源が遮断される場合を想定し、バックアップ電源を内蔵しています。バックアップ電源は充電式のため、電源オン直後や低温下では、バックアップ時間が短くなる場合があります。バックアップ電源により、電源遮断前の映像を記録しますが、必ず記録することを保証するものではありません。

## メモリーカードを取り出す / 入れる

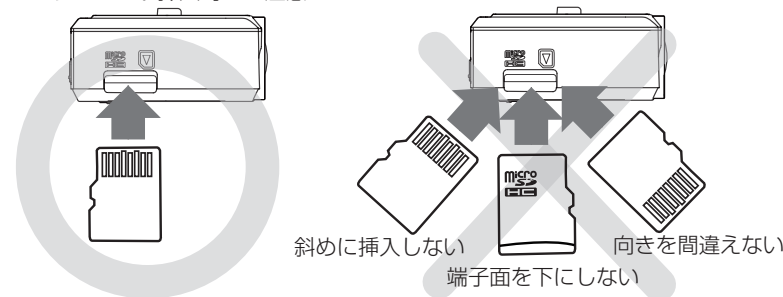
### お知らせ

- メモリーカードを取り出すときは、本機の電源がオフ（LED が消灯）になっていることを確認してください。
- メモリーカードへアクセス中（LED が点灯）はメモリーカードを取り出さないでください。
- メモリーカードには本機で記録されるデータ以外保存しないでください。
- メモリーカードを挿入しないと、本機は動作しません。メモリーカードの入れ忘れにご注意ください。

- 1 車両のイグニッションキーを「OFF」にして本機の電源をオフにする
- 2 付属のメモリーカードの端子面を上にして挿入する



### メモリーカード挿入時のご注意



### ■ メモリーカードを取り出すには

- 1 車両のイグニッションキーを「OFF」にして本機の電源をオフにする
- 2 メモリーカードを押して、メモリーカードが少し飛び出たら引き抜く

## ナビゲーションを設定する

1 ナビゲーションの「HOME」ボタンを押す

2 「情報・設定」にタッチする



3 「外部機器」にタッチする



4 「その他」にタッチし、「EXPコネクター接続」にタッチする



5 「ドライブレコーダー」にタッチする



## ドライブレコーダーの映像を表示する

1 ナビゲーションの「HOME」ボタンを押す

2 「ドライブレコーダー」にタッチする



ドライブレコーダーの映像が表示されます。

3 画面にタッチする



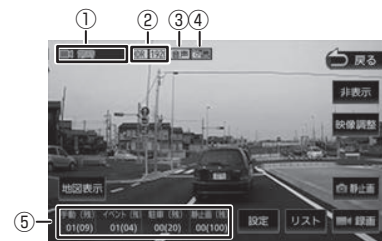
操作ボタンが表示されます。

### お知らせ

- 操作ボタンは一定時間が過ぎると消えます。画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。
- ナビゲーション画面に戻っても、本機は録画を継続します。録画をやめたいときは、アクセサリ電源 (ACC) または本機の電源をオフにしてください。
- 走行中は一部の機能は操作できません。

## 画面の見かたと操作

### 映像表示モード



- 録画モードと録画残時間  
(イベント録画 / 手動録画のみ表示)
- HDR が「ON」のときに表示 / 録画画質
- 音声録音あり **音声** / なし **音無**
- 自動静止画撮影モード ON **カメラ** / OFF **カメラ**
- 保存ファイル数 (撮影可能ファイル数)

### 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
地図表示	地図表示モード (現在地図画面) に切り替えます。
設定	ドライブレコーダー設定を表示します。(→ P.37)
リスト	録画ファイルリストを表示します。(→ P.32)
録画	手動録画を開始します。(→ P.27) 手動録画モード中にタッチすると、手動録画時間を延長します。
静止画	<ul style="list-style-type: none"> <li>静止画を撮影します。(→ P.28)</li> <li>押し続けると自動静止画撮影機能をオンします。(→ P.28)</li> </ul>
映像調整	ナビゲーションの画質を調整します。調整方法はナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。
非表示	操作ボタンを消します。

### 地図表示モード



小画面の映像にタッチすると映像表示モードに切り替わります。

一定時間操作が無いと一部の操作ボタンが消えます。タッチすると再度表示します。



### お知らせ

- 映像調整は、録画される映像の画質には影響しません。
- 地図表示モードでは地図をスクロールできません。
- 地図の向きと縮尺は変えることができます。
- 電源オフ / オンで地図表示モードは解除されます。

# 運転支援機能

## 運転支援機能についてのご注意

- 運転支援機能は、ドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。またすべての危険を通報するものではありません。
- 運転時は交通ルールを守り、前方車との車間距離や周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じてブレーキをかけるなど安全運転に努めてください。また、本機を取扱説明書にしたがい正しく使用していただく場合でも、動作を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生しても当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 車線逸脱警告はウィンカーと連動しないため、本機の仕様上、道路で車線を変更するときにも警告音となります。
- 車両を平らで見通しの良いところに駐車して、カメラの角度、向きを正しく調整してください。また、カメラの位置がずれる事で運転支援機能が正しく動作しません。調整後はカメラをしっかり固定してください。
- 以下のような場合は、運転支援機能が正しく動作しない場合があります。
  - 舗装の劣化や降雨時の反射、建物の影などにより正しく認識できない場合。
  - 前方車両の形状や色、光の加減などによって認識できない場合。
  - 天候（雨・雪・濃霧など）、時間帯（朝方・夕方・夜間など）、逆光、交通状況（渋滞・歩行者など）による変化。
  - フロントガラスに映り込みがあると正しく動作しないことがあります。ダッシュボードに物などを置かないでください。

## 運転支援機能の設定

運転支援機能を使用する場合は、取付車両に合わせて本機の路面からの取付高さ、本機から見える地平線の位置、ボンネットの先端の位置を設定する必要があります。

### ■ 準備

見通しの良い、平らな安全な場所に車を停車させてください。

1 ナビゲーションの「HOME」ボタンを押す

2 「ドライブレコーダー」にタッチする



3 画面にタッチする

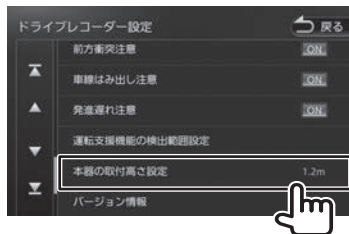


操作ボタンが表示されます。

4 「設定」にタッチする



5 「本機の取付高さ設定」にタッチする

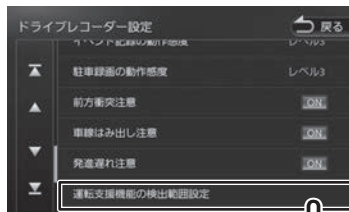


6 路面からの本機の取付高さを選択する



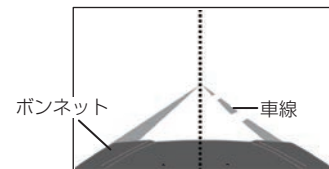
1.2m、1.35m、または2mの中で最も近い高さに設定します。

7 [運転支援機能の検出範囲設定]にタッチする



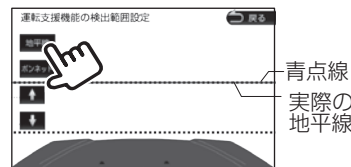
8 走行車線の中心が画面の中心になるようにカメラの向きを調整する

調整イメージ図

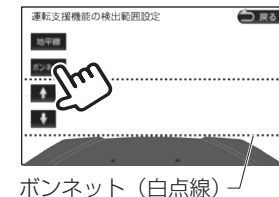


中央の縦線は実際には表示されません。

9 [地平線]にタッチして、青点線を[↑]/[↓]で実際の地平線に合わせる



10 [ボンネット]にタッチして、白点線を[↑]/[↓]でボンネットの先端に合わせる



ボンネットの先端が映像に表示されない場合は、白点線を画面の一番下まで下げてください。

## 運転支援機能の通知

運転支援機能では、以下の通知を行います。

### ■ 前方衝突注意

自車と前方車両との距離を検出して、安全な距離が保たれていない場合に、前方車両との接触事故を防ぐため通知します。30km/h以上で動作します。

### ■ 車線はみ出し注意

走行している車線を検出して、現在の車線からはみだしを通知します。60km/h以上で動作します。

### ■ 発進遅れ注意

自車が前方車両の後ろに停止した後、前方車両が発進したときに、自車の発進の遅れを通知します。自車が後退（バック）しているときなどにも、通知するときがあります。

停止中に発進遅れを通知した場合、次回発進遅れ検出までに時間がかかります。

通知機能	報知音	モニター表示
前方衝突注意	ブルルルル	前方衝突注意
車線はみ出し注意	ブルル	車線はみ出し注意
発進遅れ注意	ブルン ブルン	発進遅れ注意

### お知らせ

- 通知は、「前方衝突注意」、「車線はみ出し注意」、「発進遅れ注意」を、それぞれ「ON」に設定しているときに通知されます。

## 録画する

本機は、電源オン時に常時録画モード、イベント（衝撃）記録モード、手動録画モード、静止画記録、自動静止画撮影の5つのモードがあります。電源オフ時には駐車録画モードがあります。

### お知らせ

- 次の状態のときは録画モードは動作しません。
  - 録画したファイルを再生しているとき
  - メモリーカードが挿入されていないとき
  - 手動録画ファイル、イベント録画ファイル、駐車録画ファイルの上書き設定が「OFF」に設定されていて、最大保存できるファイル数や時間が最大になったとき
  - 録画ファイルリスト画面を表示したとき
  - ドライブレコーダー設定画面を表示したとき

## 画質の種類

### ■ 画質の種類（解像度）

「1280x720」 / 「1280x720(HDR)」 / 「1920x1080」 / 「1920x1080(HDR)」 (お買い上げ時の設定) / 「2304x1296」

- 設定を変更したいときは38ページの「録画画質」を変更してください。
- 静止画は、録画画質の設定と同じ解像度で保存されます。

## 記録ファイル / 記録枚数 / 録画時間の目安

### 録画時間

録画画質	カード容量		
	8GB	16GB	32GB
2304 x 1296	50分	100分	210分
1920 x 1080 / 1920 x 1080(HDR)	70分	140分	280分
1280 x 720 / 1280 x 720(HDR)	100分	200分	400分

### お知らせ

- 上記の録画時間は、常時録画、手動録画、イベント記録、駐車録画の合計（最大）です。
- 録画時間は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。
- 撮影モードごとの記憶容量を変更することはできません。

### 録画ファイル数

録画モード	カード容量		
	8GB	16GB	32GB
イベント記録	5ファイル	10ファイル	20ファイル
手動録画	10ファイル	20ファイル	40ファイル
駐車録画	20ファイル	40ファイル	80ファイル
静止画記録	100ファイル	200ファイル	400ファイル



## 録画ファイルの上書き保存について

- イベント記録、手動録画、駐車録画は「手動録画ファイルの上書き保存」、「イベント記録ファイルの上書き保存」、「駐車録画ファイルの上書き保存」を「ON」に設定すると古いファイルを上書きして録画します。必要なファイルはパソコン等にバックアップしてください。  
お買い上げ時の設定はイベント記録と手動録画は「OFF」に設定されています。駐車録画は「ON」に設定されています。設定については 38 ページをご覧ください。
- 常時録画に上書き保存の ON/OFF 設定はありません。録画領域がなくなると上書きして録画します。

## 電源オン時の録画と記録

本機の電源がオンになると常時録画（連続録画）を開始します。

### 常時録画（連続録画）モード

本機の電源がオンになると、常時録画（連続録画）を開始します。常時録画の最大録画時間は、録画画質の設定によります。

- お買い上げ時は「1920 x 1080 (HDR)」に設定されています。
- 録画画質を変更したいときは 38 ページの「録画画質」を設定してください。
  - 録画ファイルは、「常時録画の 1 ファイル毎の録画時間」（1 分間（お買い上げ時の設定）/2 分間 /3 分間）設定時間分、保存されます。設定を変更したいときは 38 ページの「常時録画の 1 ファイル毎の録画時間」を設定してください。

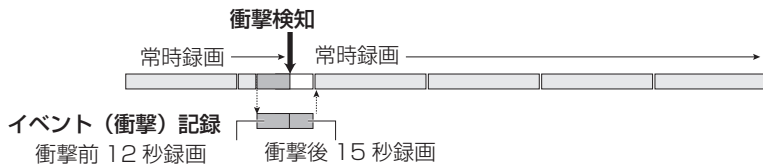
### 録画ファイルの保存場所

メモリーカード内の「NORMAL」フォルダに保存されます。（→ P.31）

### イベント（衝撃）記録モード

常時録画中に突発的な衝撃などを検知すると、常時録画を中断してイベント（衝撃）記録モードを開始します。イベント（衝撃）記録が終了すると常時録画に戻ります。

- イベント（衝撃）記録モードの記録時間は、衝撃検知前の 12 秒と衝撃検知後の 15 秒（お買い上げ時の設定）/30 秒 /60 秒から選択できます。設定については 38 ページをご覧ください。



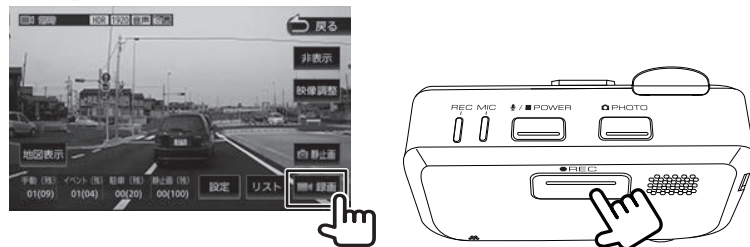
- イベント（衝撃）記録が終了する前にさらに衝撃を検知すると、そこからイベント（衝撃）記録が設定されている記録時間分延長されます。

### 録画ファイルの保存場所

メモリーカード内の「EVENT」フォルダに保存されます。（→ P.31）

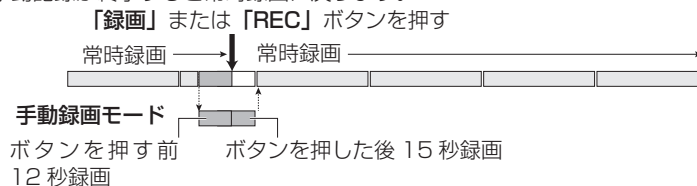
## 手動録画モード

常時録画中にモニターのドライブレコーダー画面で「録画」にタッチするか、本機の「REC」ボタンを押すと、常時録画を中断して手動録画モードを開始します。



- 手動録画モードの録画時間は、「録画」にタッチまたは「REC」ボタンを押す前の 12 秒と、押した後の設定された時間（15 秒間（お買い上げ時の設定）/30 秒間 /60 秒間）です。設定については 38 ページをご覧ください。

- 手動記録が終了すると常時録画に戻ります。



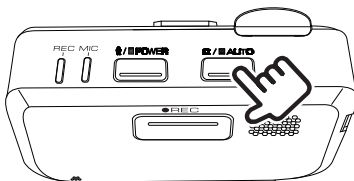
- 手動録画が終了する前にもう一度「録画」にタッチするか、「REC」ボタンを押すと、そこから設定されている録画時間分延長されます。

### 録画ファイルの保存場所

メモリーカード内の「MANUAL」フォルダに保存されます。（→ P.31）

## 静止画記録

常時録画中にモニターのドライブレコーダー画面で「静止画」にタッチするか、本機の「AUTO」ボタンを押すと静止画が記録されます。



- 静止画の解像度は、「録画画質」の設定と同じ解像度で保存されます。(→ P.38)

### お知らせ

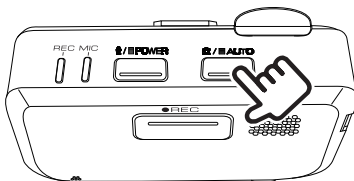
- 録画中に静止画を記録しても録画は中断されません。

### ■ 静止画ファイルの保存場所

メモリーカード内の「PICTURE」フォルダに保存されます。(→ P.31)

## 自動静止画撮影

設定した枚数を一定の間隔で自動的に静止画を撮影します。モニターのドライブレコーダー画面で「静止画」にタッチし続けるか、本機の「AUTO」ボタンを押し続けると自動静止画記録機能がオンになります。



本機の「AUTO」ボタンを押し続けるか、設定されている枚数が撮影されると自動静止画撮影機能はオフになります。

- 撮影する枚数を変更したいときは 38 ページの「自動静止画連続撮影の撮影枚数」を変更してください。
- 撮影する間隔を変更したいときは 38 ページの「自動静止画連続撮影の撮影間隔」を変更してください。
- 自動静止画の解像度は、「録画画質」の設定と同じ解像度で保存されます。(→ P.38)

### お知らせ

- 下記の場合、自動静止画撮影機能がオフになります。
  - 本機の電源をオフにした場合
  - ドライブレコーダー設定画面を表示した場合
  - 録画ファイルリスト画面を表示した場合
  - 本機のメモリーカードが取り出された場合

### ■ 自動静止画ファイルの保存場所

メモリーカード内の「PICTURE」フォルダに保存されます。(→ P.31)

## 電源オフ時の駐車録画モード

本機の電源がオフになると駐車録画モードを開始します。

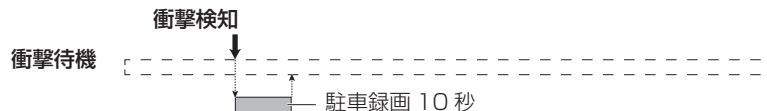
### お知らせ

- 車両のイグニッションキーをオフにする前に、本機の電源ボタンで本機の電源をオフにしたとき(→ P.18)は、駐車録画は動作しません。
- 車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には駐車録画は動作しないことがあります。

## 駐車録画モード

駐車録画モードは駐車中に車両に衝撃を受けると、本機の電源がオンになり録画が開始されます。録画が終了すると本機の電源がオフになり、待機状態に戻ります。

- お買い上げ時は、駐車録画モードが「ON」になっています。駐車録画モードを「OFF」にするには、38 ページの「駐車録画」の設定を変更してください。駐車録画の録画時間は 10 秒間(お買い上げ時の設定)/20 秒間/30 秒間から選択することができます。設定については 38 ページをご覧ください。
- 駐車録画は衝撃を検知してから数秒後に録画が始まります。
- 衝撃を検知する感度を設定することができます。設定については 39 ページをご覧ください。



### お知らせ

- 「駐車録画発生のお知らせ」を「ON」に設定しているときは、駐車録画モードで録画されると、電源をオンにしたときに音声ガイダンスとモニター表示で録画を行ったことをお知らせします。
- ドアを閉めたときの振動を検出して、駐車録画モードが動作することがあります。

### ■ 乗車 / 降車時の駐車録画を無効にする

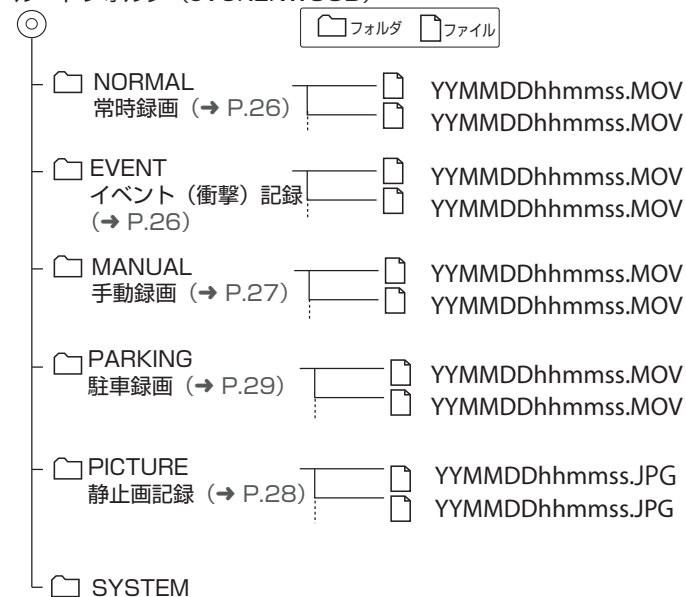
駐車録画モードは乗車 / 降車時のドアを閉めたときの振動を検知して、駐車録画モードが動作することがあります。乗車時 / 降車時のドアの振動を検知して、駐車録画モードを行わないようにするため、駐車録画モードを一定時間無効にすることができます。

- お買い上げ時は駐車録画開始時間設定（降車時） / 駐車録画停止時間設定（乗車時）ともに無効時間は「30 秒間」に設定されています。設定を変更したいときは、38 ページをご覧ください。

## フォルダ / ファイル構成

メモリーカードに録画または記録したファイルは、項目ごとのフォルダに保存されます。

ルートフォルダ (JVCKENWOOD)



### お知らせ

- SYSTEM フォルダはファイルの位置情報などが含まれています。SYSTEM フォルダだけ削除するとファイルの位置情報が使用できなくなります。

### ■ ファイル名の表記について

ファイル名は録画または記録した年月日と時間で自動的に付けられます。

YYMMDDhhmmss.MOV

YYMMDDhhmmss.JPG

年 月 日 時 分 秒

## 録画または記録したファイルを再生する

1 ナビゲーションの「HOME」ボタンを押す

2 「ドライブレコーダー」にタッチする



ドライブレコーダーの映像が表示されます。

3 画面にタッチする

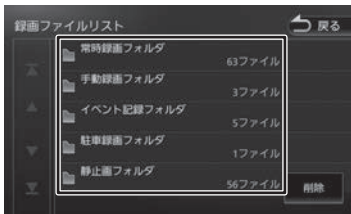


操作ボタンが表示されます。

4 「リスト」にタッチする



5 再生したい録画フォルダを選択する



6 再生したいファイルを選択する



録画ファイルの再生が映像表示モードで始まります。

録画ファイルの再生は地図表示モードと映像表示モードがあります。

地図表示モードは再生中のファイルの位置を地図で表示します。小画面に映像が表示されます。


映像表示モードは映像のみを表示してファイルに保護をかけたり、ズーム再生や映像調整などができます。

### お知らせ

- 操作ボタンは一定時間が過ぎると消えます。画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。
- 駐車録画のファイル再生は、駐車録画時にナビゲーションからの位置情報を取得できていないため、録画された場所の地図画面は表示されません。
- 地図は北側が画面の上方向になるように固定されます。
- フォルダやファイルの選択、または再生中は、録画が停止します。また、[REC] ボタンによる手動録画もできません。
- ナビゲーションの [HOME] ボタンまたは [現在地] ボタンを押すと、通常録画モードに戻ります。
- 走行中は、映像が表示されません。
- 走行中は、操作できません。









### 映像表示モード



- 1再生状態表示
- 2再生時間
- 3HDRが「ON」のときに表示 / 録画画質
- 4録画モード
- 5保護されたファイルのときに「」を表示
- 6ファイル名

「地図表示」にタッチすると地図表示モードに切り替わります。

### 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
地図表示	録画された場所の地図を表示します。小画面に映像が表示されます。
 / 	再生している録画ファイルの音量を調整します。
	再生または一時停止します。
 / 	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生中にタッチすると速度が2段階に切り替わり早送り / 早戻しします。</li> <li>一時停止中にタッチするとコマ送り / コマ戻しします。</li> <li>一時停止中にタッチし続けるとスロー再生になります。</li> </ul>
 / 	前または次のファイルを再生します。
削除	再生しているファイルを削除します。
保護 / 保護解除	再生しているファイルを削除できないように保護したり、保護を解除します。保護したファイルを再生したときは、ファイル名の先頭に「  」マークが表示されます。(→ P.35)
ズーム	再生している映像を拡大表示します。(→ P.34)
映像調整	画質の調整をします。調整方法はナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。
非表示	操作ボタンを消します。

### 地図表示モード



### お知らせ

- 地図表示モードでは地図をスクロールできません。
- 地図の向きと縮尺は変えることができます。
- 電源オフ / オンで地図表示モードは解除されます。

小画面の映像にタッチすると映像表示モードに切り替わります。

## 再生画像を拡大表示する

再生画像を拡大して表示します。

- 1 拡大表示したい画像ファイルを再生する
- 2 映像表示モード画面の「ズーム」にタッチする



- 3 「拡大」または「縮小」にタッチして倍率を選択する



倍率は等倍、2倍、4倍から選択できます。

- 4 表示させたい位置をタッチする



タッチした位置を中心に表示します。

## お知らせ

- ・操作ボタンは一定時間が過ぎると消えます。「表示」にタッチすると操作ボタンが表示されます。
- ・「非表示」にタッチしても操作ボタンを消すことができます。
- ・走行中は、映像が表示されません。

## ファイルを保護または削除する

### ファイルを保護する

録画ファイルまたは静止画ファイルを保護、または解除することができます。

#### お知らせ

- ・常時録画ファイルは保護できません。

- 1 保護したいファイルを再生する
- 2 地図表示モードまたは映像表示モード画面の「保護」にタッチする



- 3 「はい」にタッチする



ファイル名の先頭に"🔒"マークが表示されます。

### ■ファイル保護を解除する

- 1 保護されたファイルを再生する
- 2 地図表示モードまたは映像表示モード画面の「保護解除」にタッチする



- 3 「はい」にタッチする

ファイル名の先頭の"🔒"マークが消えます。

### ファイルを削除する

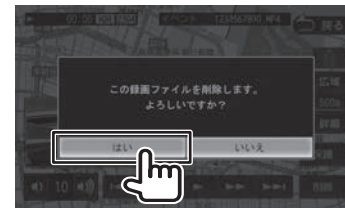
録画ファイルまたは静止画ファイルを削除することができます。

#### ■ファイルを削除する

- 1 削除したいファイルを再生する
- 2 地図表示モードまたは映像表示モード画面の「削除」にタッチする



- 3 「はい」にタッチする



再生中のファイルが削除されます。



## ■ フォルダごと削除する

1 ナビゲーションの「HOME」ボタンを押す

2 「ドライブレコーダー」にタッチする



3 画面にタッチする



操作ボタンが表示されます。

4 「リスト」にタッチする



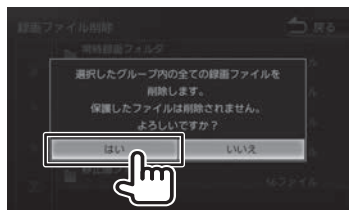
5 「削除」にタッチする



6 削除したいフォルダを選択する



7 「はい」にタッチする



選択したフォルダ内のファイル全てを削除します。

### お知らせ

- 保護ファイルを削除するときは、保護を解除します。
- 走行中は、削除操作ができません。

## 設定を変更する

本機の設定の変更は、本機と接続しているナビゲーションの設定メニューで行います。

### お知らせ

- メニュー表示中は録画を停止します。

1 ナビゲーションの「HOME」ボタンを押す

2 「ドライブレコーダー」にタッチする



3 画面にタッチする



操作ボタンが表示されます。

4 「設定」にタッチする



5 各項目を設定する



### お知らせ

- 設定中は、録画が停止します。また、[REC] ボタンによる手動録画もできません。
- ナビゲーションの [HOME] ボタンまたは [現在地] ボタンを押すと、常時録画モードに戻ります。
- 走行中は、設定操作ができません。

\* : お買い上げ時の設定

項目	設定	説明
録画面質	1280×720/ 1280×720(HDR)/ 1920×1080/ 1920×1080(HDR)*/ 2304×1296	録画する解像度を設定します。 (HDR) に設定すると、明暗差の大きなシーンの撮影も白とびや黒つぶれを抑えて被写体を録画します。 (録画モード別に画質の設定はできません。)
記録方式	映像+音声* / 映像のみ	録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定します。
駐車録画	ON*/OFF	駐車時 (ACC OFF 時) に、車両の衝撃を検出して、録画を開始するかしないかを設定します。
駐車録画開始時間設定 (降車時)	OFF/30 秒間* / 1 分間 /3 分間	イグニッションキーをオフにしてから駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。
駐車録画停止時間設定 (乗車時)	OFF/30 秒間* / 1 分間 /3 分間	イグニッションキーをオンにする前の駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。
駐車録画発生のお知らせ	ON*/OFF	駐車時 (ACC OFF 時) に、駐車録画が発生すると、電源をオンにしたときに音声と画面に表示 (「駐車中にイベント記録を行いました。」) してお知らせします。 「OFF」に設定するとお知らせしません。
常時録画の 1 ファイル毎の録画時間	1 分間* /2 分間 /3 分間	常時録画 (連続録画) の録画時間を設定します。録画時間毎に区切って録画します。
手動録画の録画時間	15 秒間* /30 秒間 / 1 分間	手動録画の時間を設定します。手動録画前の録画時間は 12 秒に設定されます。
イベント記録の録画時間	15 秒間* /30 秒間 / 1 分間	衝撃感知後の録画時間を設定します。車両の衝撃を検出前の録画時間は 12 秒に設定されます。
自動静止画連続撮影の撮影間隔	1 分 /5 分* /15 分 / 30 分	自動静止画撮影機能で撮影する間隔を設定します。(→ P.28)
自動静止画連続撮影の撮影枚数	10 ファイル / 30 ファイル* / 50 ファイル	自動静止画撮影機能で撮影する枚数を設定します。(→ P.28)
駐車録画の録画時間	10 秒間* /20 秒間 / 30 秒間	衝撃感知後の駐車録画の録画時間を設定します。
手動録画ファイルの上書き保存	ON/OFF*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。
イベント記録ファイルの上書き保存	ON/OFF*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。

項目	設定	説明
駐車録画ファイルの上書き保存	ON*/OFF	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。
操作音の音量	0/1/2*/3	本機から出力する音声ガイダンスや報知音などの音量を設定します。 0 (消音) /1 (小) /2 (標準) /3 (大)
イベント記録の動作感度	レベル 1/2/3*/4/5	車両の衝撃を検出する感度を設定します。 1 (大きな衝撃で検知します) ~ 3 (標準) ~ 5 (小さな衝撃で検知します)
駐車録画の動作感度	レベル 1/2/3*/4/5	駐車中の車両の衝撃を検出する感度を設定します。 1 (大きな衝撃で検知します) ~ 3 (標準) ~ 5 (小さな衝撃で検知します)
前方衝突注意	ON/OFF*	自車と前方車両との距離を検出して、安全な距離が保たれていない場合に、前方車両との接触事故を防ぐため報知音 / モニター表示で通知します。30km/h 以上で動作します。
車線はみ出し注意	ON/OFF*	走行している車線を検出して、現在の車線からのほみだしを報知音 / モニター表示で通知します。60km/h 以上で動作します。
発進遅れ注意	ON/OFF*	自車が前方車両の後ろに停止した後、前方車両が発進したときに、自車の発進の遅れを報知音 / モニター表示で通知します。自車が後退 (バック) しているときなどにも通知する場合があります。
運転支援機能の検出範囲設定	-	運転支援機能を使用する場合は、車両に合わせてドライブレコーダーから見える地平線やボンネットの先端位置を設定します。 (→ P.22)
本機の取付高さ設定	1.2m* /1.35m /2m	運転支援機能を使用する場合は、本機を取り付けた路面からの高さを設定します。 (→ P.22)
バージョン情報	-	本機のファームウェアのバージョンを表示します。
ファームウェア更新	本機のファームウェアを更新します。(→ P.51)	
SD カード初期化	全てのファイルを消去し、SD カードをフォーマットします。 (→ P.50)	
設定の初期化	本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	

## ビューアーソフトを使う

KENWOOD DRIVE REVIEWER は、本機で記録した映像と音声を再生するためのパソコン用の専用ビューアーソフトです。

### KENWOOD DRIVE REVIEWER の動作環境

OS	Windows 7 Service Pack 1 (32Bit/64Bit) Windows 8.1/8.1Pro (32Bit/64Bit) Windows 10 (32Bit/64Bit) Windows 10 mobile は除く
CPU	Intel Core i3 2GHz 以上
メモリ	2GB 以上
ディスプレイ	1280x800 以上
サウンド	Windows で使用可能な PCM サウンド再生機能
その他	インターネット接続環境が必要です。

- Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Google Earth は、Google Inc の商標または登録商標です。
- Intel Core は、Intel Corp. の登録商標または商標です。

#### お知らせ

- ・ご使用のパソコンによっては、再生時に映像が乱れたり音声が途切れたりする場合があります。その場合は、ビューアーソフトを終了させ、再度ビューアーソフトを起動して映像を再生してください。

### インストールする

- 1 <http://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> にアクセスして型番を選んでインストーラーをダウンロードする
- 2 インストーラー「Setup.msi」をパソコン内の任意の場所（デスクトップなど）にコピーする
- 3 コピーした「Setup.msi」をダブルクリックする



- 4 セットアップウィザード画面の指示に従ってインストールを進める



ユーザーアカウント制御の警告ウィンドウが表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

- 5 「完了」をクリックする  
インストールが完了します。

## ビューアーソフトを使う

### 準備

- 1 メモリーカードを本機から取り外し、付属のSDカード変換アダプターに挿入してから、カードリーダーを使用してPCに接続する
- 2 「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「KENWOOD DRIVE REVIEWER」をクリックして起動する

#### お知らせ




- ・KENWOOD DRIVE REVIEWER を使用するときには他のアプリケーションは閉じてください。同時に立ち上げていると動作が遅くなることがあります。

### 画面の操作



## ① 拡大表示機能

再生している映像画面の上下左右の場所を拡大したり、任意の場所を拡大表示します。

ボタン	説明
	拡大表示したときに押すと、通常画面に戻ります。
	画面左上、右上、右下、左下を拡大（2倍）表示します。
	表示される枠（①）を拡大したい位置に動かして、拡大率（②）をクリックするたびに1倍/2倍/3倍/4倍/5倍で拡大表示します。 [リセット]（③）を押すと等倍表示（1倍）になります。

## ② メニュー

## ファイル

開く	フォルダを選択する	読み込むファイルが入っているフォルダを選択します。
	kmz/kml*にエクスポート	Google Earthに読み込むためのデータを出力します。
	バックアップ	データをバックアップするフォルダを選択します。
終了	ビューアソフトを終了します。	

\*kml ファイルまたは kmz ファイルは Google Earth に読み込むためのデータです。

 (ドライブ一覧)

メモリーカードのドライブを選択します。

## ヘルプ

バージョン	ビューアソフトのバージョンが確認できます。
-------	-----------------------

## ③ 映像再生画面

映像を再生または表示する画面です。

## ④ トラックバー / 再生時間











動画情報の再生位置を示します。再生位置に応じて、地図およびグラフの現在位置を更新します。

00:00:12/00:02:00

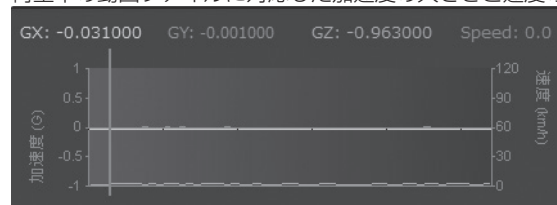
再生時間 / 総再生時間

## ⑤ 再生操作ボタン

ボタン	説明
	前 / 次のファイルを再生します。
	前 / 次のコマを表示します。
	再生を停止します。
	再生します。
	一時停止します。
	クリックすると再生中の動画を静止画として保存します。
	クリックするたびに x1 · x2 · x4 · x8 · x1/2 と再生速度が切り替わります。
	音量を調整 (0 ~ 100) します。

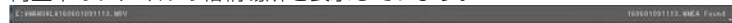
## ⑥ グラフ

再生中の動画ファイルに対応した加速度の大きさや速度の折れ線グラフです。



## ⑦ 再生中のファイルのパス

再生中のファイルの格納場所を表示しています。



## ⑧スピードメーター

再生している動画ファイルの車両速度を表示します。



### お知らせ

- 表示している車両速度は実際の速度とは異なります。目安として参照してください。

## ⑨種類別一覧

表示をクリックすると③映像再生画面に録画または記録された映像が表示され、再生が開始されます。



「ファイル」、「静止画」の場合：  
記録開始日時 / ファイルの格納場所  
「イベント」の場合：  
記録開始日時 / イベント名

ファイルの先頭位置の映像

### ①ファイル

すべての動画ファイルの一覧を表示します。

### ②イベント

手動録画、イベント（衝撃）記録、駐車録画のファイルの一覧を表示します。

### ③PHOTO

静止画ファイル、自動静止画ファイルの一覧を表示します。

## ⑩地図表示ボタン

⑨の見たいたいファイルをクリックすると、選択した動画ファイルの位置情報が地図上に表示されます。

地図が表示されていないときは **MAP ▲** をクリックしてください。



- 地図を拡大 / 縮小します。
- 緯度・経度を表示します。
- 地図を再読み込みします。
- 地図を別ウィンドウで開きます。
- 地図を非表示にします。 **MAP ▲** をクリックすると地図を表示します。
- 地図上に表示される経路やアイコンの表示・非表示を選択できます。
- 広域の地図で表示します。
- 経路  
2日以上経路を表示しているときは、日ごとに色を変えて表示します。

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
青	赤	緑	白	マゼンタ	水色	黄色

- 選択中のファイルの自転車位置を表示します。
- 各ファイルの先頭位置  
アイコンにマウスカーソルを合わせるとファイルの先頭位置の映像が表示されます。クリックすると該当ファイルを再生します。

### お知らせ

- メモリーカードの容量（常時録画）またはファイル数の制限（手動録画、イベント（衝撃）記録、駐車録画）によりファイルが消去されます。消去された部分については地図上に表示されません。
- 地図上の自転車位置は接続されたナビゲーションの位置情報を使用しています。ビル街、トンネル、高架下など GPS 信号の受信環境が悪い場所の走行などでは、自転車位置が正しく表示されないことがあります。

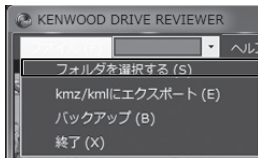


## Google Earth で使用するデータを出力して読み込む

### お知らせ

- データを出力する前に、お使いのパソコンに Google Earth をインストールしてください。Google Earth は、Google のサイトからダウンロードできます。

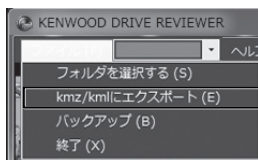
- メモリーカードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- ビューアソフトを起動する
- メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



- Google Earth で使用するデータを出力するフォルダを選択する



- メニューの「ファイル」－「kmz/kml にエクスポート」をクリックする



- 保存先を選択し、保存するファイル名を入力して、「保存」をクリックする



### お知らせ

- kmz は kml ファイルを zip 圧縮したものです。どちらのファイルでも Google Earth で読み込むことができます。

- 「出力が完了しました」と表示されたら「OK」をクリックする
  - Google Earth を起動する
  - 見たいファイルを選択する
- 画面左側に保留フォルダと保存したデータのファイル名が表示されます。ファイル名をクリックすると保存したデータが表示されます。



フォルダのし点を外すと外したデータの表示が地図から消えます。

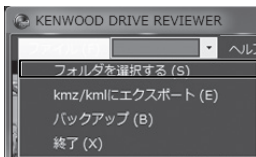
### お知らせ

- Google Earthの操作についてはGoogle Earthのヘルプなどをご覧ください。

## メモリーカードのデータをパソコンにバックアップする

メモリーカードは容量の関係から、保存しておける映像の数に限られています。メモリーカード内の必要な映像データはパソコンのハードディスクなどに定期的にバックアップしてください。ビューアソフトを使ってメモリーカードの記録データをバックアップすると、位置情報などのシステムファイルと関連付いたまま保存することができます。

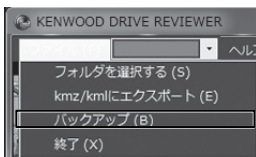
- 1 メモリーカードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



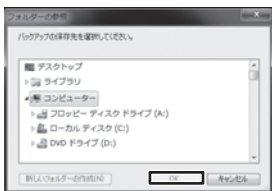
- 4 メモリーカードのバックアップをするデータが入っているフォルダを選ぶ



- 5 メニューの「ファイル」－「バックアップ」をクリックする



- 6 バックアップする保存先を選択して、「OK」をクリックする



- 7 バックアップするファイルにチェックを付けて「実行」をクリックする



ファイル

最初はすべてのファイルにチェックが入っています。

バックアップしないデータはチェックをクリックして選択を解除してください。

お知らせ

- 「全解除」をクリックするとすべてのチェックが解除されます。
- 「全選択」をクリックするとすべてにチェックが付きます。
- バックアップデータのフォルダ名は手順 5 でバックアップをクリックしたときの日時になります。変更したい場合は「作成するフォルダ」を書き替えることができます。
- 「変更」をクリックするとバックアップ先を変更することができます。

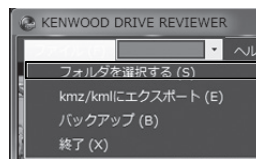
- 8 メッセージが表示されたら「はい」をクリックする

お知らせ

- バックアップの保存先を設定していない場合は、「マイ ビデオ」または「ビデオ」（ご使用の Windows のバージョンによって異なります）に設定されています。

## バックアップした映像を見る

- 1 ビューアソフトを起動する
- 2 メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



- 3 バックアップしたデータのフォルダを選ぶ

- 4 見たい映像ファイルのフォルダを選択する

再生画面が表示され、動画ファイルを再生することができます。

## メモリーカードをフォーマットする

映像を再生したり、ファイルをバックアップしたりする際にエラーが表示される時は、メモリーカードのデータが破損している可能性がありますので、メモリーカードをフォーマットしてください。

### お知らせ

- 基本的にメモリーカードのフォーマットは必要ありません。メモリーカードで書き込み・読み込みエラーが発生する場合、または本機が起動しない場合のみフォーマットしてください。
- 本機以外ではメモリーカードのフォーマットを行わないでください。
- メモリーカードをフォーマットすると、保護されているファイルを含めすべてのデータが消去されます。必要なデータがある場合は、必ずパソコンなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。

1 ナビゲーションの「HOME」ボタンを押す

2 「ドライブレコーダー」にタッチする



3 画面にタッチする

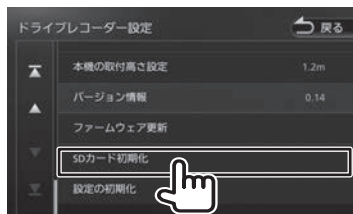


操作ボタンが表示されます。

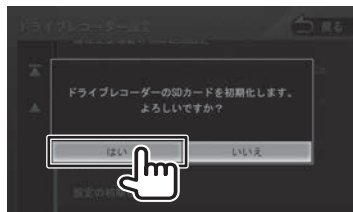
4 「設定」にタッチする



5 「SDカード初期化」にタッチする



6 「はい」にタッチする



SDカードを初期化します。

7 「戻る」にタッチして設定を終了する

## システムを更新する

本機のシステムファームウェアを更新します。アップデートに関する情報は、当社ホームページ <http://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> にアクセスして型番を選んでください。

### お知らせ

- 本機のバージョンが最新のアップデートファイルと同じバージョンの場合はメモリーカードを挿入してもアップデートは開始しません。

1 メモリーカードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する

2 当社ホームページ <http://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> にアクセスして型番を選んで、アップデートファイルをメモリーカードにコピーする

3 メモリーカードをパソコンから取り出し、本機に端子面を上にして挿入する

4 ナビゲーションの「HOME」ボタンを押す

5 「ドライブレコーダー」にタッチする



6 画面にタッチする

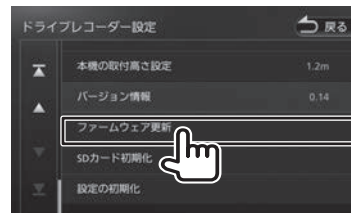


操作ボタンが表示されます。

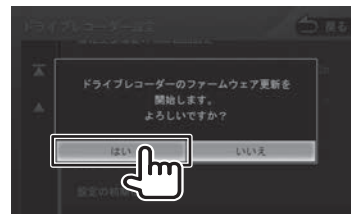
7 「設定」にタッチする



8 「ファームウェア更新」にタッチする



9 「はい」にタッチする



ファームウェアをアップデートします。

# 故障かなと思ったら

## ■ 本体

症状	原因 / 対処
記録した音声小さい。	本機の録音機能は音声を録音する目的ではなく、映像の補助としての周囲の音を記録する目的のため、記録音量は低めに設定されています。もし、録音された音が極端に小さいようであれば、本機の内蔵マイク（集音部）が覆われているようなことがないか、ご確認ください。
車両のACCをオンにしても本機が起動しない。	本機に電源が供給されていない可能性があります。お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
本機で録画された映像をナビゲーションで見えることはできますか。	本機対応のナビゲーションで見ることができます。対応ナビゲーションについてはお買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご確認ください。
録画や再生がうまくできません。	メモリーカードのフォーマットを行ってください（→P.50）。それでも正常に記録できないときは、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
録画時間を変更できますか。	設定で変更できます。（→P.38）
録画または記録したはずの映像がありません。	本機は常時記録型の映像記録装置です。メモリーカードの記録可能時間や記録件数の上限を超えると、古い記録から上書き保存されるため録画または記録したファイルが無くなっていることがあります。必要に応じて、メモリーカードのデータをパソコンのハードディスクなどに保存してください。 上書き保存しないように設定することもできますが、「上書き保存」の設定を「OFF」にしているときは、上限を超えると報知音（→P.17）が鳴り、それ以上の記録または録画は開始されません。
走行中、頻繁にイベント（衝撃）記録モードの録画が実施されます。	イベント記録の動作感度を調整する（→P.39）ことができます。
本体が熱くなることがあるが異常ではありませんか。	使用温度範囲内での使用にて本体が熱くなることがあります。本体の動作により発熱しているだけで、異常ではありません。
信号の色が記録されないことがある。	映像の記録周期とLED方式の信号機の点滅周期によっては、一瞬信号が消えて見える場合があります。また、逆光等の環境によっては信号が確認できない場合があります。その場合は、前後の映像や周囲の車両の状況から判断してください。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
エンジンを切っても本機の電源が切れない。	エンジンを切り、キースイッチがオフになっても本機の電源がオフにならない場合は、駐車録画モードが動作しています。駐車録画設定を「OFF」に設定しても電源がオフにならない場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
本体が起動しません。	お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

メモリーカードに映像が記録できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機が対応していないSDカードを使用している可能性があります。「本機で使用できるSDカード」を参照して、本機で使用可能なメモリーカードを必ず使用してください。（→P.11）</li> <li>メモリーカードに異常がある可能性があります。メモリーカードのフォーマットを行ってください（→P.50）。ただし、フォーマットをするとメモリーカードのデータはすべて消去されます。必要なデータはパソコンなどにバックアップしてください。</li> <li>本機が高温になると保護機能がはたらき、録画が停止することがあります。その場合は車内の温度を下げてください。保護機能が解除され録画ができるようになります。</li> </ul>
記録時間が短く記録されています。	常時録画モード以外の映像がメモリーカードに多く記録されていると、常時録画の時間は短くなります。また、メモリーカードにドライブレコーダーとは関係のないファイルが入っていても、録画領域が少なくなるため録画時間が短くなります。
音声ガイダンスや報知音をオフにしたい。	設定の操作音の音量を「0」に設定することでオフにできます。（→P.39）

## ■ 表示メッセージ

メッセージ	対処
SDカードがありません	<ul style="list-style-type: none"> <li>メモリーカードが未挿入の状態です電源をオンにした。</li> <li>録画中にメモリーカードが抜かれた。</li> <li>✓「本機で使用できるSDカード」を参照して、本機で使用可能なメモリーカードをカードスロットに挿入してください。（→P.11）</li> </ul>
SDカードエラーです	<ul style="list-style-type: none"> <li>認識できないメモリーカードが挿入されている。</li> <li>✓「本機で使用できるSDカード」を参照して、本機で使用可能なメモリーカードをカードスロットに挿入してください。（→P.11）</li> </ul>
SDカードの初期化が必要です	<ul style="list-style-type: none"> <li>メモリーカードが認識できる形式でフォーマットされていない。</li> <li>✓必要に応じて「メモリーカードをフォーマットする」を参照してメモリーカードをフォーマットしてください。（→P.50）</li> </ul>
SDカードのフォーマットができませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>メモリーカードが故障している。</li> <li>✓新しいメモリーカードに交換してください。メモリーカードには書き込み可能回数などの製品寿命があります。</li> </ul>
本機が対応していないSDカードが挿入されています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>8GB未満または32GBを超える容量のメモリーカードが挿入されている。</li> <li>✓「本機で使用できるSDカード」を参照して、本機で使用可能なメモリーカードをカードスロットに挿入してください。（→P.11）</li> </ul>
録画を中止しました	<ul style="list-style-type: none"> <li>メモリーカードを録画中に取り出した。</li> <li>メモリーカードの不良により、録画ができなくなった。</li> <li>何らかの不具合が発生して録画が中止された。</li> <li>スピードクラスが適合しないメモリーカードを使用すると、録画が中断することがあります。</li> <li>✓メモリーカードを挿入しなおしてください。</li> <li>✓新しいメモリーカードに交換してください。</li> <li>✓録画ファイルの上書き保存設定を変更してください。（→P.38）</li> <li>✓適合するメモリーカードに交換してください。</li> </ul>



メッセージ	対処
SD カードの空き容量不足のため録画を中止しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>メモリーカードに常時録画を開始するために必要な空き容量が不足している。</li> <li>手動録画やイベント記録の上限ファイル数分を録画するのに必要な空き容量が不足している。</li> <li>✓ 不要なファイルを、「ファイルを保護または削除する」を参照して削除してください。(→ P.35)</li> <li>✓ 必要なデータをパソコン等にバックアップしてから、「メモリーカードをフォーマットする」を参照してメモリーカードをフォーマットを行ってください。(→ P.50)</li> </ul>
イベント録画のファイル数が上限に達したため録画を中止しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「イベント記録ファイルの上書き保存」が「OFF」で、イベント記録用フォルダの上限ファイル数に達した。</li> <li>✓ 「イベント記録ファイルの上書き保存」を「ON」に設定すると古いファイルを消して録画します。(→ P.38)</li> </ul>
手動録画のファイル数が上限に達したため録画を中止しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「手動録画ファイルの上書き保存」が「OFF」で、手動録画用フォルダの上限ファイル数に達した。</li> <li>✓ 「手動録画ファイルの上書き保存」を「ON」に設定すると古いファイルを消して録画します。(→ P.38)</li> </ul>
静止画記録失敗（ファイル上限）	<ul style="list-style-type: none"> <li>静止画の上限ファイル数に達した。</li> <li>✓ 不要なファイルを、「ファイルを保護または削除する」を参照して削除してください。(→ P.35)</li> </ul>
ファイルが再生できません	<ul style="list-style-type: none"> <li>何らかの原因で、再生できないファイルが録画された。</li> <li>メモリーカードの不良により、データが読み取れなくなった。</li> <li>✓ 必要なデータをパソコン等にバックアップしてから、「メモリーカードをフォーマットする」を参照してメモリーカードをフォーマットしてください。(→ P.50)</li> </ul>
ドライブレコーダーが高温になったため、録画を中止しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機の温度上昇により録画ができなかった。</li> <li>✓ 車内の温度を下げてください。保護回路が解除され録画ができる状態になります。</li> </ul>
ドライブレコーダーが高温になったため、安全のため電源を切りました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機の温度上昇により安全のため電源を切った。</li> <li>✓ 車内の温度を下げてください。保護回路が解除され録画ができる状態になります。</li> </ul>
SD カードに更新ファイルがありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>メモリーカードにファームウェアデータが存在しない。</li> <li>✓ 本機用ファームウェアデータをメモリーカードに入れてください。</li> <li>メモリーカードにある更新ファイルが、現在のファームウェアバージョンと同じか、または古い。</li> <li>✓ 最新のファームウェアデータを入れてください。</li> <li>✓ 最新のファームウェアデータが入っている場合は、本機のファームウェアは最新ですので更新は不要です。</li> </ul>
更新できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>更新ファイルがメモリーカードから正常に読み出せなかった。</li> <li>更新ファイルが壊れている。</li> <li>✓ メモリーカードを本機でフォーマットした後、もう一度更新データをメモリーカードにコピーして、再度更新操作を行ってください。</li> </ul>
ドライブレコーダーが接続されていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機が正しく接続されていない。</li> <li>本機の電源をオフにしている。</li> <li>✓ 「接続のしかた」を参照して接続を確認してください。(→ P.14)</li> <li>✓ 電源をオンしてください。(→ P.18)</li> </ul>

## ■ ビューアソフト KENWOOD DRIVE REVIEWER

症状	原因 / 対処
イベント（衝撃）記録モードで録画された動画を再生した場合に、再生時間が設定した時間より短いものがある。	電源をオンにした後すぐに衝撃を検知した場合や衝撃検知した後すぐに電源をオフした場合には、設定時間より短い映像になります。
記録できた映像は、事故の証拠として認められるのですか？	本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
記録した映像は、Windows Media Player 等の汎用ソフトで見えることはできますか？	再生ソフトによっては再生できない場合があります。また、速度や位置などの情報は確認できません。
ビューアソフトを消してしまった。	専用サイトからインストーラーをダウンロード (→ P.40) し、再度インストールしてください。
パソコンにメモリーカードを挿入しても認識しません。	メモリーカードが正しく挿入されていない可能性があります。再度メモリーカードやカードアダプターを挿入しなおしてください。また、カードリーダーを使用している場合、カードリーダー自体が正しくパソコンで認識できていない可能性もあります。カードアダプターからメモリーカードを取り出して、挿しなおしてください。カードリーダーについてはカードリーダーに付属の説明書を参照してください。
ビューアソフトが起動しない。	ビューアソフトの動作環境をご確認ください。問題がない場合は、再度インストールしなおしてください。
再生ボタンを押しても映像の再生が始まらない。	ファイルを読み込み直してください。それでも再生しないときはファイルが壊れている可能性があります。
再生ボタンを押しても映像は再生されるが、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定の「記録方式」が「映像のみ」(→ P.38) になっている可能性があります。また、ビューアソフトの音量設定またはパソコンの音量設定が最小になっていないかご確認ください。</li> <li>設定を変更しても音が出ない場合は、本機の内蔵マイク（集音部）が覆われていないかご確認ください。</li> </ul>
再生時に映像が乱れたり音声が入り切れたりする。	ご使用中のパソコンが推奨する動作環境を満たしているかご確認ください (→ P.40)。パソコンのスペックが低かったり、他のアプリケーションが起動していると再生や音声が入り切ることがあります。
地図の自転車位置が実際とずれている。	トンネルや高架下、ビル街など走行する場所や、GPS 衛星の状態によっては、GPS の情報が正常に受信できず、位置がずれることがあります。
速度が実際とずれている。	速度はナビゲーションの車速情報から取得しているため、ナビゲーションのセンサー学習状況や GPS 衛星の状態によっては、速度がずれた表示になることがあります。
スムーズに再生されない。	KENWOOD DRIVE REVIEWER の他にアプリケーションが起動している場合は、他のアプリケーションを閉じてください。



## 主な仕様

### ■ 本体

動作温度範囲	- 10 ~ + 60℃
本体サイズ	W79 × H22 × D48 mm (マウントブラケット搭載時 H66mm)
質量	約 77g (ブラケット、ケーブル含まず)
電源電圧 (動作電圧範囲)	14V (8.5 ~ 16V)
最大消費電流	0.4A (電源電圧 14V 時)
G センサー	内蔵、最大 4.0G、0.1G 単位
GPS アンテナ	非搭載 (ナビゲーションからの位置情報を使用)
記録媒体	microSD カード (同梱 : 8GB)

### ■ 映像仕様

映像素子	1/3 型カラー CMOS
有効画素数	3M (センサー画素数 4M)
撮影画角	水平 117° × 垂直 63°
記録フレーム数	27fps
画像サイズ	2304 × 1296 1920 × 1080 1280 × 720
記録フォーマット	MOV(H.264+LPCM)
HDR	ON/OFF (解像度が 2304 × 1296 の場合 OFF 固定)

これらの仕様およびデザインは、お客様に予告なく変更になる場合があります。

### 免責事項について

- お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### 著作権について

- 録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

## ソフトウェアについて

### MD5 utility

/\* crypto/md5/md5.h \*/  
Copyright (C) 1995-1998 Eric Young  
(eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:  
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"

The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution license [including the GNU Public License.]

### CRC utility

COPYRIGHT (C) 1986 Gary S. Brown. You may use this program, or code or tables extracted from it, as desired without restriction. First, the polynomial itself and its table of feedback terms. The polynomial is  $X^{32} + X^{26} + X^{23} + X^{22} + X^{16} + X^{12} + X^{11} + X^{10} + X^8 + X^7 + X^5 + X^4 + X^2 + X^1 + X^0$

Note that we take it "backwards" and put the highest-order term in the lowest-order bit. The X<sup>32</sup> term is "implied"; the LSB is the X<sup>31</sup> term, etc. The X<sup>0</sup> term (usually shown as "+1") results in the MSB being 1

Note that the usual hardware shift register implementation, which is what we're using (we're merely optimizing it by doing eight-bit chunks at a time) shifts bits into the lowest-order term. In our implementation, that means shifting towards the right. Why do we do it this way? Because the calculated CRC must be transmitted in order from highest-order term to lowest-order term. UARTs transmit characters in order from LSB to MSB. By storing the CRC this way we hand it to the UART in the order low-byte to high-byte; the UART sends each low-bit to high-bit; and the result is transmission bit by bit from highest- to lowest-order term without requiring any bit shuffling on our part. Reception works similarly. The feedback terms table consists of 256, 32-bit entries. Notes

The table can be generated at runtime if desired; code to do so is shown later. It might not be obvious, but the feedback terms simply represent the results of eight shift/xor operations for all combinations of data and CRC register values

The values must be right-shifted by eight bits by the "updcrc logic; the shift must be unsigned (bring in zeroes). On some hardware you could probably optimize the shift in assembler by using byte-swap instructions polynomial \$edb88320 CRC32 code derived from work by Gary S. Brown.

## オープンソースソフトウェアについて

ビューアーソフトには、GNU General Public License, version 3 その他のソースコードの配布を要求しているオープンソースソフトウェアライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアが含まれています。これらのソフトウェアのソースコードは、以下の専用サイトで配布されています。

<http://www.kenwood.com/gpl>

## About Open Source Software included in the viewer software

This viewer software includes certain open source or other software originating from third parties that is subject to the GNU General Public License version 3 (GPLv3) and different copyright licensees, disclaimers and notices. The source code of software licensed under GPLv3 and different copyright licensees, disclaimers and notices are distributed at the website below,

<http://www.kenwood.com/gpl>

## 保証とアフターサービス

### 保証について

- 保証書 この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

### 修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ <http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVCケンウッドカスタマーサポートセンター  
フリーダイヤル 0120-2727-87  
携帯電話、PHSからは0570-010-114 (ナビダイヤル)  
IP 電話などからは045-450-8950  
(受付時間などは、裏表紙を参照してください。)

### 修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(→ P.52)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

- 保証期間中は…  
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後は…  
お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

- 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。製品を修理のために、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

- 車両からの取り外し/取り付けについて  
修理をご依頼される場合は、製品を車両から取り外した状態でお買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお持ちください。なお、保証期間の内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外しまたは取り付けした場合の作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

- 修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)  
技術料: 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。  
部品代: 修理に使用した部品代です。  
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

## 交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度

下記の申込用サイトに登録してください。

<https://jdrc-omimai.sakura.ne.jp/>

### 今すぐ事前登録を!

本制度のご利用には事前登録が必要です。

商品パッケージにあるマーク、または下のQRコードから申込用サイトにアクセスすることができます。事前登録されないと補償金をお支払できませんので、購入後1か月以内のご登録をお願い致します。



### 交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度とは

ドライブレコーダーのご購入者及び使用者が、ドライブレコーダーを設置した車両でレッカー搬送を伴う交通事故にあわれた場合、ドライブレコーダーの再購入費用及びその諸経費を補てんする目的で、ドライブレコーダー協議会から一律4万円の補償金が支払われる制度です。

費用負担

**無し**

(費用はメーカーが負担します)

買替補償金

**4万円**

(一律)

**JDRC** **ドライブレコーダー協議会** 補償金制度担当 株式会社リムライン

お問い合わせ e-mail : [info@jdrc.gr.jp](mailto:info@jdrc.gr.jp)

〒140-0013 東京都品川区南大井6丁目3番7号 スリージェ南大井ビル4F FAX: 03-5753-0086

## 内容

### 補償金の範囲

- 1 ドライブレコーダーの再購入費用
- 2 SDカード再購入費用
- 3 ドライブレコーダーの撤去費用
- 4 ドライブレコーダーの再設置費用
- 5 交通事故証明書の発行費用
- 6 補償金申請に関する資料及び物品の送付料
- 7 その他、上記に関する諸経費

### 補償金額

一律4万円

### ご加入費用

無 料 (費用はメーカーが負担します)

### 補償期間

登録日の翌日より1年間

### 受取人

本制度に加入しているご本人様となります。  
(死亡の場合は、法定相続人となります。)

### 対象となる交通事故

レッカー搬送を伴う自動車事故  
(追突された場合、車両が盗難された場合、  
車両が故障された場合は除きます。)

### 事故時における申請資料

下記資料をご提出ください

- 1 ドライブレコーダー本体
- 2 ドライブレコーダーの事故映像データの記録されたSDカード
- 3 交通事故証明書(写しでも可)
- 4 レッカー搬送の証明書類
- 5 再購入された同一メーカーのドライブレコーダーのレシート
- 6 補償金請求書



## 株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

・商品に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)  
0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)  
045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308  
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12  
受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00  
土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30  
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

・修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。